

平成22年2月1日

各位

会社名 株式会社 ネットインデックス  
 代表者名 代表取締役執行役員社長 田中 芳邦  
 (JASDAQ・コード6634)  
 問合せ先 取締役執行役員経営企画本部本部長 野村 淑智  
 役職・氏名  
 電話番号 03-5250-7200

**平成22年7月期第3四半期累計期間(連結・個別)及び  
 通期(連結・個別)業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ**

この度、当社において、平成21年8月12日に発表いたしました当社「平成22年7月期決算短信」のうち、平成22年7月期(平成21年4月1日～平成22年7月31日)第3四半期累計期間及び通期における連結及び個別の業績予想を下記の通り修正いたします。

1. 業績予想の修正

(単位：百万円)

(1)平成22年7月期第3四半期累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	3,758	160	133	250	6,827.83
今回発表予想(B)	2,562	△62	△128	△82	△2,315.73
増減額(B-A)	△1,196	△222	△261	△332	
増減率(%)	△31.8	—	—	—	
(ご参考)前期第3四半期実績 (平成21年3月期第3四半期)	4,065	△182	△192	△377	△21,177.89

(2)平成22年7月期第3四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	3,577	111	87	221	6,027.55
今回発表予想(B)	2,252	△126	△189	△53	△1,496.75
増減額(B-A)	△1,325	△237	△276	△274	
増減率(%)	△37.0	—	—	—	
(ご参考)前期第3四半期実績 (平成21年3月期第3四半期)	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

(3)平成22年7月期通期連結業績予想の修正(平成21年4月1日～平成22年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	6,557	319	262	379	10,354.15
今回発表予想(B)	4,563	27	△53	10	282.40
増減額(B-A)	△1,994	△292	△315	△369	
増減率(%)	△30.4	△91.5	—	△97.4	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	5,026	△222	△204	△485	△21,177.89

(4)平成22年7月期通期個別業績予想の修正(平成21年4月1日～平成22年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	6,296	270	236	370	10,100.60
今回発表予想(B)	4,363	22	△58	40	1,129.62
増減額(B-A)	△1,933	△248	△294	△330	
増減率(%)	△30.7	△91.2	—	△89.2	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	3,756	△119	△106	△572	△32,099.02

## 2. 業績予想修正の理由

### 【第3四半期累計期間 連結】

当第3四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、輸出や生産の増加や政府による経済政策の効果により景気は持ち直してきているものの、企業収益の落ち込みや雇用情勢の悪化など厳しい状況が続いております。また当社のおかれている情報通信関連市場におきましては、市場の成熟化が進む中、お客様獲得に向けた競争や差別化が一段と激しさを増しており、競争環境はますます激化している一方で、携帯電話・PHSの販売台数の減少など市場の飽和化が懸念されております。

そのような状況におきまして、当社の主要事業であるモバイル&ワイヤレス事業においては、新サービスの開始など、当社の製品開発は概ね、通信事業者から新製品の開発あるいは新通信技術の商用化を目的とする開発委託を受けて自社開発を行い、当該開発の検収後、自社ブランド製品として製造し通信事業者へ納入しております。開発委託の形式は、受託開発契約を締結する割合が高く、特定の通信事業者の技術企画・販売戦略が当社の開発項目、業績に大きな影響を及ぼしております。

そのような業態の中で、当第3四半期会計期間中におきまして、特定の主要取引先通信事業者における業績不振、新通信(ブロードバンド)サービスの市場形成の遅れによる影響により、同社との取引高が著しく減少した結果、当社の売上高が想定以上に予想を下回る結果となりました。

売上高の減少要因としましては、受託開発案件の受注の減少、既存案件の受注件数ならびに新通信(ブロードバンド)サービス向け端末案件が停滞したことなどになります。一方、その他の取引先事業者との新規案件獲得や既存案件の受注数増などの強化・向上をさせるべく取り組み、販管費及び一般管理費の削減に努めましたが、売上高の想定以上の減少により営業利益、経常利益、当期純利益とも予想を大きく下回ることとなりました。

なお、通期につきましても、長引く経済不況の背景と特定取引先の業績の回復状況を考慮し上記のとおり修正いたします。

### 【第3四半期累計期間 個別】

モバイル&ワイヤレス事業の売上高減少の影響により修正するものです。

### 【通期 連結】

第4四半期及び第5四半期につきましても、モバイル&ワイヤレス事業は第3四半期の市場環境に加え、特定の取引先通信事業者との取引高が減少することが想定され、既存製品のPHS音声端末、各種データカード製品の販売は当初の販売計画を下回る見込みであり、また、新製品の販売、その他の取引事業者向け製品の販売が上向いておりますが、当該期間における営業面での寄与は限定的であるため通期連結業績は、減収が避けられず、上記の予想をそれぞれ見込んでおります。

### 【通期 個別】

モバイル&ワイヤレス事業の売上高減少の影響により修正するものです。

## 3. 配当について

### (1) 修正の理由

当社は上記「業績予想修正理由」にありますように、当第3四半期会計期間中におきまして、特定の主要取引先通信事業者における業績不振、新通信(ブロードバンド)サービスの市場形成の遅れによる影響により、売上高が著しく減少いたしました結果、当第3四半期会計期間及び通期の業績に関しまして、業績予想を達成することが出来ませんでした。そのような状況の中、誠に遺憾ではありますが、平成22年7月期の期末配当につきましては無配とさせていただきます。

株主の皆様には、ご迷惑をお掛けすることになり心よりお詫び申し上げます。

今後、復配を実現できるよう、全役員、従業員一丸となって業績回復に取り組む所存でございます。

(2) 修正内容

基準日	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回予想 (平成21年5月15日)	円銭 —	円銭 0.00	円銭 —	円銭 1,000.00	円銭 1,000.00
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	—	—	—	—
前期実績 (平成21年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 今期は平成21年4月から平成22年7月までの変則16ヶ月決算となっております関係上、平成22年7月を期末の予想として記載しております。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により記載の予想数値とは異なる場合があります。

以上